



道の友

Toyama Council Scout Association of Japan

2020.1/67号
since 1975.10



The Friends News

日本ボーイスカウト富山県連盟
富山市舟橋北町7-1 ☎076-432-6505
E-mail: bstoyama@p1.coralnet.or.jp
http://www.bstoyama.org

第24回世界スカウトジャンボリー派遣



Japan Contingent
24th WORLD SCOUT JAMBOREE
NORTH AMERICA 2019

アメリカ合衆国ウェストバージニア州サミット・ベクトル保護区にて 2019 年 7 月 21 日 (日) ~ 8 月 5 日 (月) まで 16 日間にわたって行われました。「新世界の扉を開こう」 “Unlock a New World”をテーマに、富山県連盟からも指導者・スカウト総勢 14 名を派遣。真夏の異国から様々な経験値と友情を持ち帰り、一回りも二回りも成長したスカウトたち。「感謝」「感激」「感動」の報告です。



鍋本 知江

日本派遣団第 15 隊副長・小矢部第 3 団ボーイスカウト隊副長

世界中の国旗がなびき、いたるところで「Hello」が飛び交い、雨が降ってこそ歌声が響く、文化の違いが温かく受け入れられるあの環境は 4 年前と同じでした。世界中のスカウトが混じり合い、笑顔でお互いの文化を理解し実践しようとするスカウトみんなの姿が、国際交流、異文化理解をそのままに表していたように思います。そのような場所に居合わせることでできて感動しました。今回の派遣でお世話になった皆様に感謝の気持ちで一杯です。



佐野 智彦

日本派遣団第 14 隊・高岡第 16 団ベンチャースカウト隊



私は世界ジャンボリーに参加することで生きていく上で大切なことを多く学び、また再認識しました。はじめは皆、言語の違いに戸惑い、なかなかコミュニケーションを取れずにいました。しかし、お互い一生懸命意思を伝え合い、友情を深めることで海外のスカウトたちと私達は一つになれました。2 週間という長くて短い時間ではありましたが、共に生き、喜びを共有することができました。スカウトとしても、1 人の人間としても、大きく成長することができました。

宅美 博史

日本派遣団第 14 隊・高岡第 16 団ベンチャースカウト隊

今回の世界ジャンボリーはこれからの日常生活やスカウトとしての活動に大事なものを学べた気がしました。外国人と話す時は当たり前のように英語を使い、初めは本当に通じるのかと不安になっていたけど、オドオドせず堂々と話せば相手もしっかり受け答えしてくれたので、少し自信が付きました。また、自分の所属していた派遣隊は、中部地方の寄せ集めのような隊だったのにも関わらず、事前訓練や大会開催中に友情を深めることができ、多くの体験を共にできたことをとても嬉しく思います。



野崎 颯太

日本派遣団第 14 隊・高岡第 16 団ベンチャースカウト隊



24WSJ で何事も勇気を持って体験することが大事だと思います。キャンプは辛いだけなのではないのかとか、外国人に自分の言いたいことを伝えられることが出来るのかどうか、自隊の人と 2 週間うまく過ごしていけるのかなど様々な不安がありました。しかし、参加してみると 出発前まで持っていた様々な不安も杞憂に終わり、最高の思い出となりました。言語の面ではあまりうまくできなかったものの仲間との協力のおかげで楽しく交流を深めることも出来ました。この大会に参加するのに不安もあったものの勇気をだして参加し、結果、最高の仲間と最高の思い出をつくる事が出来て本当に良かったと思います。

久郷 多聞

日本派遣団第 15 隊・富山第 10 団ベンチャースカウト隊

僕は 24WSJ で人生に残っていくような大きな思い出がたくさんできました。その中でも大きく残っているのは日本派遣団第 15 隊の皆と過ごした特に時間でした。世界ジャンボリーと言うこともありアクティビティも大きい規模で楽しかったです。そこで僕は、友達っていいな、仲間っていいなと改めて感じられました。今回の派遣隊では他県のスカウトもいて、ほとんどの人が初対面だったにもかかわらず、ボーイスカウトという共通点だけで繋がることができ、一緒に過ごしてきた仲間という存在にしてくれました。今回の経験を通して色々なことに繋がられると思うし、自分自身でも成長出来たと感じられました。この機会をくれたリーダーや両親に感謝して、これからも日々成長していきたいです。



北野 竣大

日本派遣団第 15 隊・富山第 19 団ベンチャースカウト隊

僕は 24WSJ に参加して、とても良い経験をし、良い思い出が出来たと思います。約 16 日間仲間と過ごし色々な体験をしました。その中でも閉会式がとても印象に残っています。なぜならもうジャンボリーが終わってしまう、仲間と一緒に居られる時間も、もう少しかと思ひ悲しくなったからです。今回の WSJ は過去最高なものだったと思います。後輩のスカウトには絶対に世界ジャンボリーに行きたいと思いました。



五十嵐 華聖

日本派遣団第 15 隊・高岡第 2 団ベンチャースカウト隊



僕は 24WSJ に参加して色々な経験をしました。たくさんのアクティビティに初めて体験するものがあり、とても面白かったです。僕は特にジップラインが楽しくて印象に残っています。開会式や閉会式で見たパフォーマンスは派手でなかなか経験出来ないことだったので、とても楽しかったです。僕は 24WSJ で学んだことをこれからも活かしていきたいです。

樋口 紘大

日本派遣団第 15 隊・高岡第 2 団ベンチャースカウト隊

私は 24WSJ を通して改めて世界の広さを感じました。移動の仕方だけでもバグパイプを吹きながらゆっくり行進するスコットランド、音楽を鳴らしジャンプしているアルゼンチンなど、様々な文化を身をもって知りました。日本に無いような規模のジップラインやラフティングなどの多くのアクティビティは更に格別でした。この 24WSJ は私の人生でもっとも中身のある楽しい 16 日間になりました。



天池 光宏

日本派遣団第 15 隊・高岡第 11 団ベンチャースカウト隊



24WSJ にてフクイサウルステトリエンシス班で初めて班長という役務につき、班の責務とジャンボリー活動プログラムで濃密な 16 日間でした。ジャンボリー期間では Novus という腕時計型の電子機器を使い 20 ヶ国以上の人たちと繋がる事で改めて世界の広さというものを実感する事ができました。今回の世界ジャンボリーの経験は、今後の活動のパイオニアリングや野営訓練などに反映していきたいです。

宮原 龍星

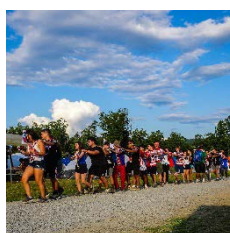
日本派遣団第 15 隊・高岡第 16 団ボーイスカウト隊

僕はこの 24WSJ で世界中に多くの友達を作ることができた。その中には今でも連絡を取り合っている人もいるほどだ。ジャンボリー中は言葉の壁はもちろん、国同士の摩擦も関係なく心でつながった友達になることができる。また約 18 日間を共に過ごした班員との協力、役割の分担で助け合いの精神も養うことができた。この経験を今後のスカウト活動にも生かして、有意義なスカウト生活を送りたいと思う。



北村 旭

日本派遣団第 15 隊・高岡第 21 団ベンチャースカウト隊



私はこの世界ジャンボリーで心に残っているのは、ジップラインです。理由は、ジップラインから見る会場がとても大きく綺麗だったからです。他にも多くのプログラムに参加しましたが、どれも楽しく普段の生活ではできないことばかりでとてもいい経験になりました。期間中は班のメンバーや隊のみんなと楽しく協力しあって活動することができ、世界ジャンボリーに行けてとても良かったです。

坂林 涼

日本派遣団第 15 隊・高岡第 21 団ベンチャースカウト隊

僕は今回の世界ジャンボリーに参加し、はじめは隊の皆や班の人たちが知らない人達で不安があったけど 1 日 1 日とすごしていくなかで、ほぼ全員と助け合うことができました。24 時間屋外で水のシャワーしかなかったり、寒い中暑い中待ったりと辛いことやイライラすることも多々ありました。しかし楽しかったことや嬉しかったことも多くあります。世界ジャンボリーに参加できてとても良かったです。また別の立場となっても行きたいと思いました。



林 修次

日本派遣団第 15 隊・高岡第 21 団ボーイスカウト隊

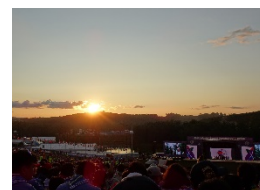


僕はこの派遣を通して、いろいろな国の文化や仲間と協力することの大切さなどを学びました。一番苦労したことは、言葉の壁です。僕は英語が喋れず、とても苦労しました。でもいろいろな国のスカウトと交流を深めて行くなかでジェスチャーなどを使い、自分なりに相手に伝わるように工夫することができました。また、そうすることで外国のスカウトと、よりいっそう仲が深まったと感じました。今回の派遣で学んだことを日頃の生活やこれからのスカウト活動にも活かしていきたいです。

東海 立

日本派遣団第 15 隊・氷見第 2 団ベンチャースカウト隊

僕は 24WSJ でボーイスカウトである事を誇りに思えた。世界中から多種多様な人々が集まる WSJ。文化、考えの違いはあれど、相手を尊重する事で全ての人々が WSJ を愉しんでいた。其の時には障害も軋轢も無かった。しかし、現実には人種や文化の差異により国や人々の衝突が続いている。だからこそ僕は互いを尊重できるボーイスカウトを誇りに思う。相手に敬意を払えば団結できると云う人生で最も大切な事の一つを WSJ から学んだ。



第62回ボーイスカウト富山県大会



テーマ 「UNLOCK A NEW WORLD」～新世界の扉を開こう～

開催日 平成31年4月28日(日)

開催場所 アイザックスポーツドーム、大沢野総合運動公園、猿倉山森林公園キャンプ場

■ビーバースカウト部門 ■ タイトル 「スカウトランド」に遊びに行こう！



■カブスカウト部門 ■ テーマ 「新世界への扉を開こう」ーチャレンジ・スピリットを持ってー

■ボーイスカウト部門 ■ テーマ 「Toyama de 一番」



■ベンチャースカウト部門 ■ テーマ UNLOCK A NEW PIONEERING



全国防災キャラバン2019



11月24日 イオンモール高岡

全国防災スカウトキャラバンが「そなえよつねに、みんなでつくる準備のころ」をテーマに実施されました。

ブラックフライデーのセール中で買い物客も多く、たくさんの方々に来ていただきました。入り口のカブスカウトの顔出しパネルで写真をとってもらい子どもがたくさん！万が一の災害などの際に役立つ知識やスキルをゲームや工作を通して親子で学んでもらいました。

各ブースではロープワーク、心肺蘇生、AED、ダンボールで作るイス、牛乳パックで作るホイッスル、新聞紙で作るスリッパなどのほか、散乱した室内を想定した「脱出ゲーム」も大人気でした。また、長野災害ボランティアの活動紹介やハザードマップも掲示されました。



長野市災害ボランティア

令和元年 10月19日(土)～20日(日)・11月3日(日)～4日(月)

富山県連盟では、台風19号により水害にあった長野市へ2回(4日間)、災害ボランティアを派遣した。1回目は、富山ローバースカウトの会(TRK)のメンバー、2回目は県内の各団へ参加を呼びかけ、廃棄物仮置き場でのトラックから家具等を降ろす作業、1階の上まで浸水した家のガレージと家財道具の洗浄作業、りんご畑に流れ着いた廃材の処理、倉庫等に溜まった汚泥の除去作業を行った。

参加したベンチャースカウトからは「TVで見るだけでなく実際に現地で奉仕活動ができ、今後も募金活動などで復興を応援したい」と感想をいただいています。

「いつも他の人々を助けます」、今こそ実践を！



富山ローバースカウトの会



こんにちは、TRKです！

10月5日、6日に、石川県のローバースカウトの皆さんと一緒にキャンプをしました。

9月に行われた中部ブロックイベントに引き続き、それぞれの県ローバーの悩みや活動内容などを話し合いながら、野外料理、キャンプファイヤーを通してスカウト技能の交歓も行った実りの多い2日間になりました。活動を通してのスカウトスキルの向上はもちろん、指導者のたまごとして悩みを相談し合える仲間が県内、全国にできることも嬉しいことです。

ベンチャースカウトを卒業したら、ぜひ TRK へ！



ウッドバッジ実修所

2019年9月13日～16日 於：立山青少年自然の家

参加指導者数：19名 うち富山県連盟：8名

■新谷 浩朗（大阪連盟）

ウッドバッジ実修所カブスカウト課程第170期 所長



富山県では実に17年ぶりの実修所が開設されました。19人、うち富山県連盟からは8人のカブスカウト隊指導者が粉骨砕身！富山の子どもたちの笑顔のために、めでたく第2教程を履修されました。9月の残暑を感じさせない小高い山の中、また、サルの親子がおいしそうにクリを食べて歩いていく横で、参加指導者は6～7人グループになってキャンプ生活（「班野営」）を行いながら、全15の学習をこなしました。

学習内容は、端的に書くと「カブスカウトたちがドキドキ・ワクワクする楽しいプログラム、それでいて保護者や社会が『なるほど』と感心するプログラムを、いかにしてつくるか？」、これに尽きます。参加指導者はこの大切な命題に対して、講義を聞く、グループの人と話し合う、集会モデルを実習する、頭をふりしぼって黙々とノートに向かう、自分たちで考え抜いて作ったプログラムを実施・体験するなどして、一生懸命に取り組まれました。ここでの学習をもとに、参加指導者はこれから1年間、自分自身の隊で試行錯誤？しながら実践し、その結果をレポートにまとめていく（「第3教程」）ことになります。

今回の実修所開設を機に、参加指導者の隊はもちろん富山県連盟すべてのカブスカウト隊に多くの子どもたちが集まり、笑顔で「カビング」（＝Cubbing（カブスカウト活動））を楽しんでくれるよう、心からご期待申し上げます。

■渡壁 敦子

富山第19団カブスカウト隊隊長

私はWB実修所カブスカウト課程へ参加しました。カブ隊の活動を担うようになり今年で3年目を迎えましたが、隊長として活動に関わるうえでも未だに先輩指導者に頼ることも多い日々でした。この実修所に参加するにあたり、事前研修課題に取り組み日々の活動を振り返る機会を得ました。事前課題では、諸先輩方やトレーナーからの助言を受けて進めるうちに、自分自身の隊長としての課題が明確になっていきました。また、高岡地区での定形外のスキル研修にも参加させていただきました。自然豊かな環境で、共通の目的をもった仲間と学ぶことが出来た有意義な時間でした。講師やお世話を頂きました方々へお礼申し上げます。ありがとうございました。

ボーイスカウト講習会

2019年6月23日 於：呉羽青少年自然の家

■山本 智子

高岡第11団カブスカウト保護者

私は、息子にボーイスカウトの活動を通して社会で生きることができる術を身に付けてほしいと考えていましたが、活動の趣旨をよく理解できていないままでした。そんな時に、講習会に参加する機会を得ました。

講習会は、まるでスカウトの一員となったかのように、講義と屋内や屋外での体験を通し楽しく学べるスタイルになっていました。講義では、スカウト運動の創始者であるベーデン・パウエルさんのことや、現在は世界中で活動されている大規模なものであること、スカウトの各々の部門にどのような課題やねらい、教育があるのかについて教わりました。年代の特性に応じて、其々に対応したプログラムや進級制度が構成されていることがよくわかりました。

ハイキングでは、スタート地点から暗号を解く課題があり、その他の活動内容も冒険心あふれるものでした。初めて会うメンバーでチームを組みましたが、コミュニケーションを取りながら楽しく活動することができました。また、日ごろ子供たちがしている歩測による計測は意外に難しく、私の計測は大外れでした。慣れないロープワークや方位磁石の見方を教えてもらうことができたのは、今後の活動に役立つのでとても嬉しかったです。とても感動したのは、キャンプファイヤーです。模擬でしたが、歌を通してゲームをすることで見知らぬ人と親しくなり、仲間を作ることができる楽しさ、ワクワク感を味わうことができました。

今回の体験を通して、スカウトの活動の趣旨を理解できたので、今後の活動に少しでも貢献することができればと考えております。



【新川地区】

新川地区カブスカウト隊合同舎営

期間：令和元年 11 月 3 日～4 日（1 泊 2 日）

宿泊地：呉羽青少年自然の家

参加団：魚津第 2 団・滑川第 1 団・上市第 1 団

参加者：カブスカウト 20 名・スタッフ 20 名

スカウトたちも普段と違う仲間と遊びとても刺激になっていたと思います。



【富山地区】

令和元年 9 月 16 日。富山市の稲荷公園にてボーイスカウト富山地区のカントリー大作戦が行われた。天候こそ後半、小雨に降られるなどしたが、大過なく終える事ができました。内容的には各団が担当したブースを中心に行われました。参加者で目立ったのは一般参加者で大変うれしい思いで見えていました。

今後とも地区の多くのスカウトが集まる当大会を盛り上げていかねばならないとの決意が芽生えた一日でした。



【高岡地区】



8 月 10 日～15 日、山川野営場にて

3TTC (3rd Takaoka Training Camp)が行われました。今年で 3 度目で、地区内 8 個団から参加がありました。活動内容は、通信、観察、火起こし、計測・測量等のスキルトレーニング。指導者が集まれば、それぞれの得意分野を活かすことができ、スカウトたちも班同士の競争心が芽生えるのが合同キャンプの良いところです。ナイトゲームやベンチャー主導のパイオニアリング、キャンプファイヤーなど盛りだくさんの 5 泊 6 日でした。



【砺波地区】

H31.4/27（土）～28 日（日）第 62 回ボーイスカウト富山県大会 祭典 ベンチャースカウト部門

砺波地区ベンチャーは県大会ではブリッジを製作しました。事前の準備では、全員で何度も打ち合わせを重ね、計画もしっかり立てました。少人数ながら立派に完成させました。

仲間のキズナもより深まり、とてもよい活動になったと思います。



I N F O R M A T I O N

■ 次回のボーイスカウト講習会 ■

日 時	令和2年3月15日（日）9時～17時	会 場	二上まなび交流館
主任講師	惣元 博和 LT	参加費	3,000円（教材・食事代）

■ 令和元年度表彰に輝く人々 ■

令和元年度ボーイスカウト関係の次の方々が表彰されました。
心からお祝いを申し上げ、今後ますますのご活躍と当運動へのご支援をいただきたいと思います。

◎社会教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）	・大野 聡一（理事長・魚津2）
◎富山県教育功労者表彰	・松谷 英真（副理事長・上市1）
	・氷見第5団
◎富山県社会教育功労者表彰	・水野 隆（地区協議会長・小矢部3）
◎ボランティア活動推進会長表彰	・久保 秀智（県連盟コミッショナー・小矢部3）
◎日本連盟かつこう章	・藤田 登夫（高岡11） ・高瀬 晃（高岡9）

■ 令和2年度 指導者養成事業 ■

◇ボーイスカウト講習会◇

6/21（日）	R2-1	呉羽青少年自然の家	田中 景子 ALT
3/21（日）	R2-2	小矢部市岩尾滝つろぎ交流館	大坪 喜世美 LT

◇WB研修所スカウトコース富山第3期

9/19（土）～22（火）	スカウトコース第3期	小矢部市岩尾滝つろぎ交流館	東海 直樹 LT
---------------	------------	---------------	----------

◇WB研修所課程別研修

11/29（日）	CS課程研修富山第3回	呉羽青少年自然の家	上埜 茂人 ALT
	BS課程研修富山第2回	呉羽青少年自然の家	長守 崇 LT

■ 第63回ボーイスカウト富山県大会 ■

【テーマ】 SCOUTING FOR TOMORROW ～明日を目指して～

【開催日】 令和2年4月26日（日） 準備：令和2年4月25日（土）

【開催場所】 上市町内 式典会場：総合体育館 -アリーナ- 祭典会場：丸山総合公園内・上市町内

【参加章】 大会缶バッジ

【祭典】

ビーバースカウト部門	【あしたの森のなかま】	総合体育館アリーナ・芝生ひろば
カブスカウト部門	【ようこそ！アメリカ・インディアン村へ！楽しもう知恵と技！】	多目的広場・展望広場・正面広場
ボーイスカウト部門	【峰のふもとで道を探せ】	上市町内
ベンチャースカウト部門	【THE TOYAMADIAN VILLAGE】	芝生ひろば

【スカウト顕彰】 伝達は式典の中でスカウトにお渡しします。
同封の申請書にて、令和2年3月27日（金）まで県連事務局へ提出してください。
今回は、顕彰スカウトをプロジェクターとスクリーンを使用し、紹介する予定です。
写真データの提出に関しては、スカウト顕彰の要項を後日配布します。

【販売コーナー】 スカウト用品等の販売コーナーを会場内に設けます。
詳細な場所、販売時間等は実施要項にてご案内いたします。

編集後記 中村

今年はドングリなどの不作から、生活圏内での熊の出没が相次ぎ、指導者の皆様もスカウト活動への影響を懸念されていると思います。ナラやブナなどの木の実がなる広葉樹よりも、杉を植林してきたことが、原因の一つでしょうが、里山を管理できる人が少なくなったことにより、森と街を隔てる緩衝帯の減少も考えなければなりません。
人が入れば里山は復活する、放置された里山について、何か出来ないものかと悶々とする日々です。

